



読字 故 原 田 親

No. 598

2010/2/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西神田3-4-1 東京学生会館4階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8236
岡山市浜3-8-30 511
TEL.(086)272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8014
倉敷市産島中央1-8-4
(宮地方)
TEL.FAX(086)446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国はどこへ向かうか⑤

栗本 泰治

市場経済を通じて社会主義への道

胡錦濤さんのあいさつを見て、中国は市場経済を通じて社会主義への道を歩んできたし、これからも歩み続けるというのです。

中国へ行くと、世界が大きく変化しつつあることが実感できます。

昨今の社会を見ると、資本主義に未来はあるのか、と考えざるを得ません。社会の富をつくりだす労働者



畑田重夫さん

『建国記念の日』を考える “県民のつどい”に参加して

日中友好協会岡山支部 事務局長 小林軍治

二月十一日、岡山大学で建国記念の日問題連絡協議会主催の第四十三回「建国記念の日」を考える県民のつどい」が、約一〇人の参加で開かれました。大森久雄岡山県歴史教育者協議会会長が、主催者あいさつのなかで、この日の歴史について触れ、神話による歴史の偽造を許してはならない」と話されました。

講演は、国際政治学者の畑田重夫さん（全国革新懇代表世話人）が内外情勢の激変と日本の進路」と題して、身振り手振りで八六才の年令を感じさせない、元気の内容でした。

成功しつつあると考えてよいのです。

日本と中国の両共産党は、文化大革命」中の毛沢東の干渉問題から関係が断絶し、32年間の空白がありました。1998年に関係が正常化し、その後交流が深まっています。

その間、日中両党の理論会談も3回を数えました。この理論会談の中で、市場経済を通じて社会主義への道が議論されています。

日本側の不破哲三さんの報告によると、市場経済を社会主義への道にするには、次の三点が必要とされています。

第一に、社会主義が市場での競争で資本主義に負けない力をつくること、

第二に、経済全体のカナメを社会主義国家がにぎること

第三に、市場経済が生み出す腐敗や汚職などの否定現象から社会と経済を守ることの三点が指摘されています。

（不破哲三著「激動の世界はどこに向かうか」新日本出版社）この問題はきょうはこれ以上深入りしませんが、ぜひこれらの本をお読みいただきたいと思っています。

ただ、いままで一部には中国は資本主義国になった」とか市場経済は資本主義だ」という方

年で、どうたたかいくかを問われたことです。

今年は安保改定五〇年、韓国併合一〇〇年などの節目で、さらに、改憲のための国民投票施行（五月）、参議院選挙（七月）、沖縄知事選（十一月）など、これからの日本の進路を決める、大切な年になると力説されました。

日中友好協会も今年は、創立六〇周年を迎えます。畑田先生が力説された節目の年を、日中不再戦は、憲法9条を活かす道である」ともとづいて、たたかいく決意です。

第82回日中文化講座

ニホン語を教える人のための5か条

【日時】4月11日(日)

10時～12時

【場所】高島公民館

岡山市中区国府市場99-5

TEL(086)275-1341

【講師】竹内和夫

（岡山大学名誉教授 言語学

日中友好協会岡山支部理事長）

【参加費】無料

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑬

その人達だって映画俳優の趙丹が何処へ行ったかわからないわけですよ。

でも日本の映画女優が趙丹どうなっているかと、いつも安否を気にしている事が、実はそれが文化大革命の地獄のような日々の中で、彼(趙丹)に対する迫害が薄まっていくことになったんです。

4人組の一人で王洪文という人なんか 趙丹は目障りだ

から始末してしまえなんて命令も出していたらしいんですが、それが結局死刑にならないうで済んだのは、日本の女優、日本の映画監督がずーと安否を気遣っていた、その声が間接的に伝わって伝わって、それで大映画俳優の命が救われたという話を、趙丹自身が文章の中で書いているんです。涙が出てくるような話です。

趙丹という人は文化大革命が終ってから映画界に復帰す

る希望があつただけども、江青女子との関係があつてなかなか復帰できない。

未完の対局」という日中合

作映画が、日中国交回復十周年記念で作られたんです。日本側では大映が作って、企画も趙丹が出して、映画化されたが彼が主役をする予定だったのが、彼が病気で倒れてしまったので、変わりに他の人がやった。1985年に趙丹は亡くなるんです。

そういう意味で文化大革命というのは、中国映画と漫画界というものをすごく席巻した。

つづく

戦争、二度と起つてない！

「残留孤児についての話」講演会の感想

黄 艶萍

2月2日、小林軍治さんの残留孤児についての話の講演会が高島公民館で行われました。

在日中国人である私は、現在残留孤児への生活支援にもかかわっており、大変興味深く聞くことができました。

開拓団団員の両親の子として中国満州で生まれ、4歳の時日本に帰ることになった小林さんは、ご自身の経験を語りながら、写真や資料を展示するなどし、戦争の一面を生々しく私達に伝えてくださいました。

1931年の柳条湖事件から1945年まで15年にわたった日中戦争は、日中両国人民に対していかに悲惨なものであったのかと改めて認識することができました。

そして、残留孤児にならざるを得なかった原因は戦争であり、戦争の一番の被害者になったものこそ一般人民であることがよく分かりました。

話を聞き終え、私は戦争に断じて反対するという信念がより一層固まってきました。

また、大きな苦難を乗り越え、やっと帰国できた孤児た



中央 小林軍治さん

ちに對し、微力でもよいから何か手助けしてあげたいという気持ち湧き上がってきました。

これからも、この人たちと一緒に、日中友好、戦争を二度と起こさないという決意を人々に語り続け、世界の平和に貢献していきたいと強く思いました。

おひとりさまの老後」を読んで

「老後の社会保障を考える」学習会パート2

報告記(2)

米田さんが、月刊『学習』09年10、11、12月号に連載されていた「社会保障と応能負担の原則」(みなりかずお氏)を資料としてコピーしてくださっていた。それをここで紹介させていただきます。

【応能負担の原則】は、

① 直接税を中心とする(所得課税)、

② 最低生活費には課税しな

い(生計費非課税)、

③ 所得を総合し、所得が増えるごとに高い税率を課す(総合累進課税)などを基本原則としており、憲法二五条に定める生存権保障に関する国の義務を、税制のうえに具体化した財政政策であるといえます。

しかし現実には、政府が介護保険の導入(二〇〇〇年四

二月十一日 畑田重夫さんの講演を聞いて

旗は高く 旗棹は深く

梶尾玲子

謂悪の根源は安保！仕事につけないのも・暮らしがすさまじく苦しいのも・食料自給率が最低なのも、根源は総て「米安全保障条約」と、繰返し語られる八十六才の畑田先生の何と鋭刺とされた語り口、魅力的な容姿、背筋を伸ばして一時間半立ちっぱなし。

れはしません。五十年の歳月の中で、アメリカのいいなりで対等ではない。冷戦が終つてもアメリカの傘の中に一億余の私達は入れられている。

お供のカバンの中から資料の重い二本が次から次へととりだされて凄いと拝聴しながら安保管争の頃に頭を巡らせ、子育て中でテレビニュースの傍観者でしかなかった私。

政権交代をした今も状況は変わらない。安保をなくす闘いこそが今の現実を希望のもてるものにできるはず。

日本から基地が無くなり、憲法に相応しい日本になつてこそ、次の世代にバトンタッチすることが出来ると確信できました。

今日のお話のような答えをもたず、ワッショイワッショイの中で女子東大生が亡くなった事の痛ましさは決して忘れら

うに！

来年も又学習出来ますよ

月)を「社会保障構造改革の突破口」と位置づけ、この原則を大きくゆがめる事態がおきています。」

【二五条を守る運動は、九条を守る運動と表裏一体の課題であることを痛感します。】

今回で「社会保障を考える学習会」は一段落とします。

次回は、米田さんが紹介してくださった、上野千鶴子と辻元清美の対談集「世代間連帯」を、題材として話し合うという事でいかがでしょうか。

日時はまた、お知らせします。

日中岡山9条の会」真田

ハンセン病問題を考える

市民のつどい

日時：2010年3月21日(日)

13:30~16:00

場所：岡山県立図書館

定員：150名

申込不要・参加費無料

次回の新聞発送作業は

3月1日(月)午後1時半

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方

です。

由 木葉吹林井和
青 稲貝小白竹内
三 竹内垣